

# 地域研修(仮称)の基本カリキュラム(案)

## 基本カリキュラムの考え方

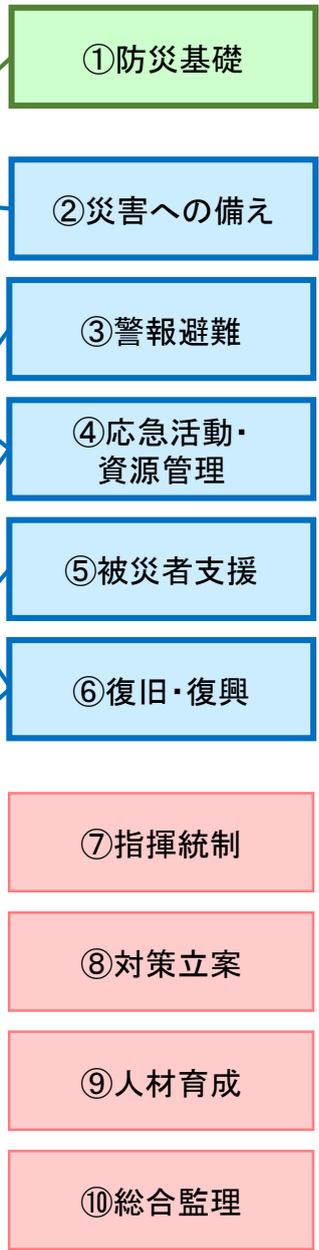
- 地域研修(仮称)の「基本カリキュラム」は、有明の丘研修を圧縮し、「防災基礎」を地域の災害特性に置き換えたものとする。
- 基礎能力の向上を図るために、自治体職員として理解しておくべき防災行政に係る基本的な枠組みについて学ぶ単元は実施を必須とする。(背景:黄)
- それ以外の単元(演習)は、地域の希望に応じて変更するなど調整可能とする。

### 基本カリキュラム(案)

: 必須単元   
  : 地域調整単元

日程	時間	単元	手法
一日目	9:15~9:30	オリエンテーション	
	1限目 9:30~10:45	防災行政概要 (75分)	座
	2限目 10:55~11:40 11:40~12:25	災害法体系(45分) 防災計画(45分)	座
	3限目 13:25~14:40	地域の災害特性 (75分) <small>※調整可(地域に応じた内容で実施)</small>	座
	4限目・5限目 14:50~17:30	【演習】 (150分+10分休憩) <small>※調整可</small>	演
二日目	1限目 9:30~10:40	警報避難の枠組 (70分)	座
	2限目 10:50~12:00	被災者支援の枠組み(1) (災教法と避難生活支援) (70分)	座
	3限目 13:00~14:10	被災者支援の枠組み(2) (仮設住宅と生活再建支援) (70分)	座
	4限目 14:20~16:30	【演習】 (120分+10分休憩) <small>※調整可</small>	演
	5限目 16:40~17:30	全体討論・閉講 (50分) <small>※調整可</small>	演

### 有明の丘研修 コース



# 地域研修(仮称) 基本カリキュラム(案)の概要

資料2-2

□ : 必須単元 □ : 地域調整単元

## 【各講義の内容と学習目標】

日程	時間	単元	手法	単元の概要	講師	学習目標	備考	
一 日 目	9:15~9:30	オリエンテーション	座	地域研修(仮称)の目的や位置づけ、本研修の内容、受講にあたっての心構えについて説明する。	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域研修(仮称)の目的を理解できる。</li> <li>受講にあたっての心構えを持つことができる。</li> </ul>		
	1限目 9:30~10:45	防災行政概要	座	防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。	内閣府	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災活動の全体像と考え方、段階ごとの活動の概要を説明できる。</li> </ul>	75分	
	2限目 10:55~11:40 11:40~12:25	災害法体系 防災計画	座	防災活動の前提となる法律や防災計画の基本的な知識を学ぶ。	内閣府	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災活動に関連する法令の概要を説明できる。</li> <li>防災計画(BCPと受援体制を含む)の概要を説明できる。</li> </ul>	45分/45分	
	3限目 13:25~14:40	地域の災害特性	座	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	気象台	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。</li> </ul>	75分 地域に応じた内容で実施	
	4限目・5限目 14:50~17:30	演 習						150分+10分休憩
二 日 目	1限目 9:30~10:40	警報避難の枠組	座	避難勧告判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難勧告等に関するガイドライン」を中心に学ぶ。	内閣府	<ul style="list-style-type: none"> <li>警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れを説明できる。</li> </ul>	70分	
	2限目 10:50~12:00	被災者支援の枠組み(1) (災害救助法と避難生活支援)	座	災害救助法に基づく避難所の開設・運営業務及び多様な被災者への対応について、ガイドラインや事例を交えて学ぶ。	内閣府	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害救助法の概要を説明できる。</li> <li>避難所の開設・運営と多様な被災者への対応を説明できる。</li> </ul>	70分	
	3限目 13:00~14:10	被災者支援の枠組み(2) (仮設住宅と生活再建支援)	座	応急仮設住宅(建設、借り上げ等)の提供業務及び被災者生活再建支援法に基づく住家被害の調査や罹災証明書交付業務の仕組みと概要について、ガイドラインや事例を交えて学ぶ。	内閣府	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急仮設住宅(建設、借り上げ等)の仕組みと業務の概要を説明できる。</li> <li>被災者生活再建支援法の概要を説明できる。</li> <li>住家被害の調査や罹災証明書の交付業務の仕組みと業務の概要を説明できる。</li> </ul>	70分	
	4限目 14:20~16:30	演 習						120分+10分休憩
	5限目 16:40~17:30	全体討論・閉講	演	研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修を通じて、学び、得たものを整理する。</li> <li>日頃からの「備え」につなげることを認識する。</li> </ul>	50分	